新たな日本人宇宙飛行士候補者の募集に向けて

2026年 11月 27日

文部科学省　研究開発局
研究開発戦略官（宇宙利用・国際宇宙探査担当）付

文部科学省
MEXT
MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

新たな日本人宇宙飛行士候補者の募集に向けて

令和9年4月を目途に、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）において日本人宇宙飛行士（JAXA宇宙飛行士）候補者の募集を行うこととし、応募される皆様の準備期間も考慮して、11月27日（金）付で予告を行う。

募集の背景

- 『アルテミス計画』等の進展により、有人宇宙活動の舞台が、国際宇宙ステーション（ISS）をはじめとする地球低軌道から月面へ広がることを踏まえ、**2030年代における我が国の有人宇宙活動を担う宇宙飛行士を着実に育成していくことが必要**となっている。
- **宇宙飛行士の育成には一定程度の年数を要する**中で、**現役世代からの技術・知見の継承を受けながら**、**将来の月面探査や地球低軌道活動を担う新たな宇宙飛行士候補者の育成を行う**。

募集の概要

※募集要項は今後JAXAにて詳細を検討するため、現時点での想定であることに留意されたい

- 採用人数：若干名
- 応募資格等：学歴、専門性については前回の選抜と同様
- 想定スケジュール：
  - 令和9年（2027年）4月頃　　募集開始（書類の受付は6月頃から3か月程度）
  - 令和10年（2028年）秋頃　　選抜結果発表

JAXA宇宙飛行士

2026年11月1日時点



星出彰彦

誕生：1968年生まれ（現在57歳）
専門：航空宇宙工学　経歴：宇宙開発事業団（現JAXA）
選抜：1999年2月（当時30歳）
資格：2001年1月　ISS搭乗宇宙飛行士に認定
　　2006年2月　ミッションスペシャリスト認定
飛行実績：　（スペースシャトルの搭乗運用技術者）
①2008年6月　STS-124ミッション、「きぼう」船内実験室取付
②2012年7月～11月　第32/33次長期滞在
③2021年4月～11月　第65/66次長期滞在 ISS船長(日本人2人目)



油井亀美也

誕生：1970年生まれ（現在56歳）
専門：航空機操縦　経歴：防衛省航空幕僚監部（パイロット）
選抜：2009年2月（当時39歳）
資格：2011年7月　ISS搭乗宇宙飛行士に認定
飛行実績：
①2015年7月～12月　第44/45次長期滞在
②2025年8月～2026年1月　第73/74次長期滞在



大西卓哉

誕生：1975年生まれ（現在50歳）
専門：航空機操縦　経歴：全日本空輸（パイロット）
選抜：2009年2月（当時33歳）
資格：2011年7月　ISS搭乗宇宙飛行士に認定
飛行実績：
①2016年7月～10月　第48/49次長期滞在
②2025年3月～8月 第72/73次長期滞在 ISS船長(日本人3人目)



金井宣茂

誕生：1976年生まれ（現在49歳）
専門：医学（潜水医学）　経歴：自衛隊呉病院（医師）
選抜：2009年9月（当時32歳）
資格：2011年7月　ISS搭乗宇宙飛行士に認定
飛行実績：
①2017年12月～2018年6月　第54/55次長期滞在



米田あゆ

誕生：1995年生まれ（現在31歳）
専門：医学（外科）　経歴：虎の門病院（医師）
選抜：2023年2月（当時28歳）
資格：2024年10月　ISS搭乗宇宙飛行士に認定
飛行実績：
なし



諏訪　理

誕生：1977年生まれ（現在49歳）
専門：地球科学　経歴：世界銀行
選抜：2023年2月（当時46歳）
資格：2024年10月　ISS搭乗宇宙飛行士に認定
飛行実績：
なし（2027年3月以降にISS長期滞在を予定）

元JAXA宇宙飛行士（写真はJAXA退職順、() 内は選抜時の年齢）



毛利　衛
（37歳）
飛行2回



向井千秋
（33歳）
飛行2回



土井隆雄
（30歳）
飛行2回



野口聡一
（31歳）
飛行3回



山崎直子
（28歳）
飛行1回



若田光一*
（28歳）
飛行5回



古川　聡
（34歳）
飛行2回

*若田宇宙飛行士が2014年に日本人初となるISS船長を務めた

月面基地構築：3段階のロードマップ

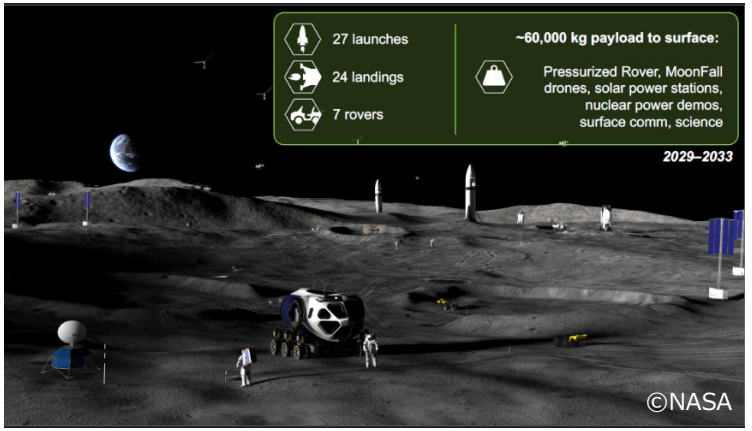
フェーズ1(2029年迄)　*構築・試験・学習*

- 単発・特殊なミッションから、繰り返し可能でモジュール化されたアプローチへ移行。
- CLPS（商業月輸送サービス）や LTV（月面探査車）を活用し、月面での活動頻度を増加。
- 移動能力、発電、通信、ナビゲーション、運用、科学研究全般を進展。



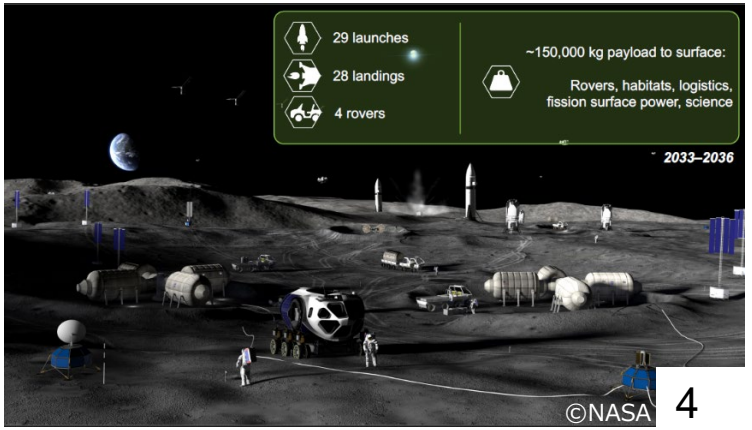
フェーズ2(2029～2032年)　*初期インフラ整備段階*

- 半居住型インフラを整備し、定期的な宇宙飛行士活動を支える物流体制へ移行。
- 国際協力を統合：
  例：JAXA の有人与圧ローバ、各国の科学ペイロードやローバ、輸送・インフラ能力。



フェーズ3(2032年以降)　*持続的な有人活動*

- 貨物輸送が可能な有人月面着陸機(HLS) が本格化すると、継続滞在に必要な重量インフラを配置。
- 国際貢献の例：
  - o ASI（イタリア宇宙機関）による多目的居住モジュール（MPH）
  - o CSA（カナダ宇宙機関）による月面多目的ビークル
  - o その他の居住、移動、物流に関する追加貢献の機会



【出典】https://www.nasa.gov/ignition/，図の出典：https://www.youtube.com/watch?v=yIlTwwJv1Ac

前回のJAXA宇宙飛行士候補者募集について

○ 募集人数：若干名（応募総数：4,127名、募集期間：2021年12月～2022年３月）

○ 応募資格：（多様性を持った多くの方が応募可能となるよう、前々回（2008年）の結果から以下のように応募資格を緩和）

項目	前々回（2008年）	**前回（2021年）**
学歴	４年制大学卒業以上	**学歴は不問**　選抜試験において４年制大学卒業相当の能力を評価
専門性	自然科学系（※）分野に限定 ※理、工、医、歯、薬、農学部等	**専門分野は不問**　選抜試験において自然科学系の素養を評価
医学的要件	身長：158cm以上～190cm以下 体重：50kg～95kg	身長：**149.5cm以上～190.5cm以下** 宇宙船の改良や新規開発により、宇宙船搭乗の身体的要件が緩和

○ 選抜プロセス：　書類選抜
第0次選抜（英語、一般教養、STEM等）
第1次選抜（医学、資質、技量、プレゼン）
第2次選抜（医学、面接）
最終選抜（医学、資質、技量、面接）



前回選抜結果発表時
（左）米田 あゆ、（右）諏訪 理

○ 選抜結果：**2023年2月28日に2名（男性１名：諏訪 理、女性１名：米田 あゆ）の宇宙飛行士候補者を決定。**

募集結果（4,127名）
2022年4月5日発表

▷

書類選抜結果（2,266名）
2022年4月22日発表

▷

第0次選抜結果（205名）
2022年6月28日発表

▷

第1次選抜結果（50名）
2022年9月30日発表

▷

第2次選抜結果（10名）
2022年12月23日発表

▷

第3次選抜結果（2名）
2023年2月28日発表